

<h1>第313回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

- ◎ 日時 2019年5月31日（金）10：00～16：30
- ◎ 場所 きゅりあん 4階 第1特別講習室
- ◎ 出席者 40名（法人会員：22社 32名 個人会員：6名 オブザーバ参加：1社 2名）

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 企画運営委員挨拶

初めての参加が5名、オブザーバ参加が1社2名をいただいています。

月例会は様々な機械安全について意見交換したり、研究開発する場なので、本日も皆さまから活発なご意見をいただき進めたく考えます。

② 自己紹介・トピックス

・参加者全員コメント

・中災防様：機械安全関連のJISが5月に発行されましたので、ご承知ください。

・デンカ様：社内で安全要求仕様書を作成中なので皆さんの所見が欲しい。

→ 増田：安応研として安全要求仕様書の冊子化を予定中。

・6/27 A3コース リスク低減と災害事例の講習会予定

7/3、4 入門講座 MSE-D 講座 特別講習会の案内 定員40名 講習料 半額

会員の皆様はじめ、関係者の奮ってのご参加をお願いします。申し込みは普及会事務局まで。

2) 定例報告

① 第312回月例会・第36回企画運営委員会の概要。

・詳細は「第312回月例会議事録」参照。

② 第37回関西月例会・関西委員会活動報告概要。

・詳細は「第37回関西月例会議事録」参照。

・テキストC3に記載されている安全距離に関する質問あり。

テキスト担当者から説明有り：資料だけを抜きとってあるもので、規格ではないのでそのまま利用するのは問題がある。普及会に変更を検討依頼。

③月例会アンケート報告

・アンケート結果報告

2016年度 13件/23件 実施中

2019年度アンケート 4月より継続中、参加者のご協力をお願いする。

増田委員長

- ・ 統合生産システムの研究委員会を立ち上げようとしている。情報提供等皆さんの協力をお願いしたい
内容としては設計者及び使用者に非常に有効だと思われる
今年の後半は 仕組みの安全 協働ロボットの講習を行いたい。
- ・ 関西で工場見学を企画中
・ヒューマンファクターをニコンさんに場所を借りて実施したが、今後も行いたいと思う。
会員企業の皆さんも役に立つと思うので、次の機会には聴講してもらいたい。
また、各企業個別でお願いしたいという事であれば石原さんに依頼するか安応研の事務局検討する。

2. 会員企業による報告

13:00~14:20

株式会社リケン 技術統括部 保科氏

「リケンにおける機械安全の運用について」 …… 添付資料2 参照

実例を用いて社内の実情について発表していただいた。

発表に対して、リスクの評価方法や低減方法などについて盛んに意見交換が行われた。

3. テーマ「統合生産システムに関する各社の現状と課題」

概要 … (株)SUBARU の設備導入について

- ・PU 工場の生産設備の安全について
- ・生産設備の安全確保 → 安全基準の厳格化
設備設計時のフローの明確化及び厳守
- ・課題: ・生産技術員のスキルの低下が懸念される。
・リスクアセスメントを実施する能力の低下
- ・発表に対して活発な意見交換がなされた。

月例会説明資料

資料番号	資料名
2-1	リケンにおける機械安全の運用について
3-1	(株)SUBARU の設備導入について